

講演会 企画展「ハンセン病文学の新生面『いのちの芽』の詩人たち」関連イベント

# 戦後ハンセン病文学を読みなおす

● 2023年3月18日(土) 14:00～15:30 会場 国立ハンセン病資料館 映像ホール

あらかわ ようじ  
講師 **荒川 洋治**氏 (現代詩作家)



今回の講演会では、「北條文学・以後」ともいえる戦後のハンセン病文学、特に詩作品について、現代詩作家の視点から語っていただきます。

講師プロフィール：1949年、福井県生まれ。現代詩作家。詩集に『水駅』（第26回H氏賞）、『渡世』（第28回高見順賞）、『空中の茱萸』（第51回読売文学賞）、『心理』（第13回萩原朔太郎賞）、『北山十八間戸』（第8回鮎川信夫賞）、評論・エッセイ集に『忘れられる過去』（第20回講談社エッセイ賞）、『文芸時評という感想』（第5回小林秀雄賞）、『過去をもつ人』（第70回毎日出版文化賞書評賞）、文庫に『詩とことば』（岩波現代文庫）など。2019年、恩賜賞・日本芸術院賞を受賞。日本芸術院会員。東村山市在住。2020年10月24日文学講演会「東村山ゆかりの名作」（東村山市中央公民館）で北條民雄を論じるなど、ハンセン病文学についても造詣が深い。



お申込みは  
こちらから

- ・事前申し込み制：定員70人（先着順）
- ・参加申し込み受付：2023年1月4日（水）正午12:00開始
- ・お申込みは当館HPより <https://www.nhdm.jp/>

- ・本イベントは、動画のライブ配信はありません。動画の後日公開もありません。
  - ・本イベントは、予告なく変更・中止になる場合があります。あらかじめご了承ください。
- お問い合わせ：国立ハンセン病資料館

189-0002 東京都東村山市香葉町4-1-13 TEL 042-396-2909